

2018年度広島大学平和センター記念国際シンポジウム

「ヒロシマの平和、そして世界の平和ー過去・現在・未来への展望」

広島大学平和センターは、2018年8月2日、2018年度広島大学平和センター記念国際シンポジウム「ヒロシマの平和、そして世界の平和ー過去・現在・未来への展望」を開催しました。

シンポジウムでは明星大学准教授で広島大学平和センター研究員の竹峰誠一郎氏、広島市立大学准教授の福井康人氏、コロンビア国立大学教授の Camilo Alberto Borrero García 氏、広島大学平和センター副センター長で広島大学大学院国際協力研究科副研究科長・教授の片柳真理氏が、活発な議論を行いました。



平和構築について講演する Camilo 教授



パネルディスカッションの様子

参加者からは「グローバル被爆者という視点やビジネスと平和という視点が興味深く勉強になった」、「学際的に「核」と「平和構築」について包括的な議論があり大変勉強になった」などの感想が寄せられました。広島大学平和センターは、今後もシンポジウムの開催等を通じて、平和学に関する研究成果の還元、情報の提供を積極的に行い、広島から世界に平和を発信していきます。